

産業応用フォーラム「自動車用次世代電源システムのロードマップ」開催のご案内

概要：21世紀を迎えて自動車に対する環境面や安全性・快適性への要求は一段と高まっています。それを実現する手段として電動化・電子制御化が不可欠となっており、パワーエレクトロニクス技術の進展と相まって、車載電気負荷は増加の一途をたどっています。電動パワーステアリングなど大容量負荷の採用も急速に拡大しており、ハイブリッド車や電動4WDシステムなど駆動系の電動化や、アイドリングストップシステムも着実に普及が拡大しています。これら電動化、電子制御化を支えるインフラとして電源システムの重要性が増しており、大容量化、高効率化、高信頼化など電源系への要求も年々高度化してきています。

本フォーラムでは、次世代の自動車電源システムはどうあるべきか、それを実現するための課題や対応する技術開発動向について、車両電源システム、配電系、電装品、パワーエレクトロニクス、回転機、バッテリー・キャパシタのそれぞれについて、現状と将来動向をロードマップとして述べます。また、電子制御化の究極であるX-by-Wireシステムに向けた高信頼化の動向や課題についても述べます。

皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

日時：2006年12月22日（金）10時00分～17時00分

会場：東京電機大学 神田校舎 7号館 7502教室

プログラム：

1. 10:00～10:20	「総論：自動車電源の現状と将来」	トヨタ自動車	寺谷 達夫氏
2. 10:20～11:00	「車両電源システムのロードマップ」	本田技術研究所	藤原 正氏
11:00～11:40	「自動車配電系のロードマップ」	オートネットワーク技術研究所	宮崎 順之氏
3. 11:40～12:20	「自動車電装品のロードマップ」	デンソー	大林 和良氏
	昼食		
4. 13:30～14:10	「自動車用パワーエレクトロニクスのロードマップ」	パワーシステム	木下 繁則氏
5. 14:10～14:50	「自動車用モータのロードマップ」	トヨタ自動車	市川 真士氏
	休憩		
6. 15:10～15:50	「自動車用バッテリー・キャパシタのロードマップ」	ジーエス・ユアサ マニュファクチャリング	大前 孝夫氏
7. 15:50～16:20	「X-by-Wire高信頼化技術」	日産自動車	池田 貞文氏
8. 16:20～17:00	「総合質問」		

テキスト：電気学会技術報告書 第1049号

「自動車用次世代電源システムのロードマップ」（本体価格 2400円）

電気学会 自動車用次世代電源システム調査専門委員会編

参加費： テキスト購入の場合 一般（会員：12,000円 非会員：13,000円）
学生（会員：4,000円 非会員：5,000円）
テキストなしの場合 一般（会員：10,000円 非会員：11,000円）
学生（会員：2,000円 非会員：3,000円）

申込方法：「産業応用フォーラム（自動車用次世代電源システムのロードマップ）参加申し込み」

と題記し、氏名、所属、連絡先（住所、電話番号、ファックス番号、電子メール）

およびテキストの要否をご記入の上、event@iee.or.jpまで、電子メールにてお申し込みください。

参加費払込方法：参加費は当日会場受付にてお支払い下さい。

なお、テキストも同時に販売いたします。

問い合わせ先：望月 資康（東芝） Email: motoyasu.mochiduki@toshiba.co.jp

TEL:059-376-6233 FAX: 059-376-6138

主催：電気学会産業応用部門 自動車技術委員会（委員長 トヨタ自動車 寺谷 達夫）

協賛：同技術委員会 自動車用次世代電源システム調査専門委員会（委員長 同上）

（社）自動車技術会 42V分科会